

小規模多機能型居宅介護「サービス評価」 総括表

法人名	社会福祉法人 真誠会	代表者	理事長 前田 浩寿	法人・ 事業所 の特徴	医療法人・社会福祉法人真誠会は、保健・医療・福祉のサービスに対応したホスピタウン ネットワークと、多くの資格取得者で構成されております。 真誠会医療福祉連携センターを中心に、米子（河崎）、弓浜（大崎）、富益、和田それぞれ がネットワークで繋がり、サービスの提供を行っております。
事業所名	看護小規模多機能型 居宅介護真誠会 ふる里	管理者	埴田美春		

出席者	市町村職員	知見を有するもの	地域住民・地域団 体	利用者	利用者家族	地域包括支援セン ター	近隣事業所	事業所職員	その他	合計
	1 人	0 人	1 0 人	0 人	0 人	1 人	0 人	2 人	2 人	1 6 人

項 目	前回の改善計画（自己評価）	前回の改善計画に対する取組み・結 果	意見	今回の改善計画
A. 事業所自己評価 の確認	① 年間を通じてふる里職員全員 に、事業所自己評価 9 項目の 改善計画を実践する。 ①12月の地域推進会議で外部評 価のまとめと総括を公表する。	・別紙「事業所自己評価・ミーテ ィング様式」参照	・全職員熱意をもって、改善に向 けて努力されている。 ・具体的な目標（改善点）をもっ て計画され、計画を遂行すること で、利用者が安心して生活でき るので今後も頑張ってくださいと 意見あり。	①事業所自己評価の改善計画の 実践状況を、職場会で確認、共有 し全職員で取り組む。
B. 事業所の しつらえ・環境	① 環境整備の継続：清潔で居心 地の良い空間を継続できる。 ② 1 年中と通して花、野菜の園 芸の継続 ③職員駐車場の街燈を設置し明 るくしてもらいたい。	・環境整備に力を入れ取り組み、 清潔で居心地の良い空間づくり を継続中。 ・職員駐車場に街燈が LED にな り明るくなった。	・職員の挨拶、対応も丁寧で好感 が持てます。 ・利用者の表情も明るく、良い運 営がされていると感じますと意 見あり。	①：居心地の良い環境になるよ う、事業所内をレイアウト。 ②：ご利用者の安全に配慮し、 職員も働らきやすい施設となる よう環境整備する。
C. 事業所と地域の かかわり	① 行事「綿作り」「ふる里祭り」 「餅つき大会」の開催と地域、 保育園・小学校との関わりも 継続する。 ② 定期的に公民館と関わり、公 民館活動に可能な限り参加す る。 ③ふる里便りを地域の回覧版に 挟んでもらい、地域の皆様にふ る里で業務、役割を認知しても らう。	・地域の方や子供達と共同で行事 を開催できた。 ・公民館でのイベントにご利用者 と一緒に参加できた。 ・公民館活動には参加する機会が 少なかった。 ・ふる里便りを回覧し、ふる里を 認知してもらえよう取り組ん だ。	・「綿作り」「餅つき大会」への参 加や実施、公民館への外出、ふる 里便りの回覧等、地域とのつな がりに積極的に取り組んでおられ ると思います。 ・「綿作り」「餅つき大会」では子 供さんの参加もあり、世代間交流 の機会ともなっており良いと思 います。また業所についての理解 が深まり、意味深い取り組みだと 思いますと意見あり。	①：自治会からの回覧板等から、 地域の活動、イベントを情報収集 し、地域の行事やイベントへの参 加。 ②：ご利用者と一緒に公民館の行 事に参加したり、事業所職員が公 民館活動に参加し地域との交流 を図る。 ③：ふる里便りを回覧し、施設へ の理解を深め地域資源のひとつ として認識されるよう努める。

				④：従来から行っている「綿作り」「餅つき大会」の開催を継続。
D. 地域に出向いて 本人の暮らしを支える取組み	① 行政と連携し、各ご利用者の地域民生委員を確認する。 民生委員とも連携を図る。	・ご利用者の民生委員の把握、連携に至らなかった。 ・ご利用者の地域の行事やイベントを把握できず参加できていない。	・利用者以外の方への支援も関係機関と連携し、必要時対応されており、地域の中で頼れる存在です。 ・高齢者の多い地域であり、職員の方にはいつも見守りを兼ね、住民の動向を考えて頂いている。 ・地域の行事に利用者の方も方々もよく参加されていると思いますと意見あり。	①：ご利用者が住んでいる地域の行事に参加出来る機会を作る。 ②：①ができるようご利用者の生活、習慣、なじみの環境、人との繋がり の把握。
E. 運営推進会議を活かした取組み	① 推進会議にて地域の心配・不安な高齢者の聴取・共有。 ② ①で挙げたことを、職場会で共有し支援や対策を検討する。 ③の提案者への報告と次回の推進会議にて報告する。	・推進会議は2ヶ月毎に開催できた。 ・地域住民の方に多く参加して頂き、心配ごとの聴取や意見交換ができた。 ・運営会議の情報を職場会で共有するには至らなかった。	・運営推進会議では、グラフ等を用いて解りやすく説明すると共に、事例検討や改善計画等の説明も受けている。 ・地域住民の方が多く参加し、活発に意見交換され、有意義な会議であると思いますと意見あり。	①：運営推進会議には管理者と職員が参加し、地域の方の困りごとや意見を聴取、共有。 ②：運営推進会議にご利用者家族も参加していただけるようアプローチ。
F. 事業所の 防災・災害対策	① 推進会議で消防訓練計画、BCPについて説明する ② 防災訓練日時が決定後、事前に推進会議出席者に案内状を送付 ③ ②の参加者も交え、年2回訓練を実施する 地域の防災訓練日程を把握し可能な限り事業所として参加。	・年2回の事業所での防災訓練は実施できたが、事前に開催日の案内ができなかった。 ・地域の防災訓練に参加できなかった。	・災害時には高齢者を持つ家族にとっては、夜間の宿泊等で利用できるなど、頼りになると考える。 ・地域の防災訓練について引き続き、アンテナを張って、機会があれば参加をお願いしますと意見あり。	①：防災訓練（年2回）の日時を運営推進会議で発信。 ②：①の参加者も交え、年2回の訓練実施。 ③：地域の防災訓練の日時を情報収集し参加。

